

D. 受験校を考えるにあたって

1. 第一志望校と併願校

○国公立大学が第一志望の場合

国公立大学を第一志望とする場合、共通テストの自己採点の結果によって、出願校を決定していくこととなります。合格のためにはまず、共通テストで結果を出さなくてはなりません。その後、二次試験となりますが、共通テスト終了から1か月半も後となり、その間私立大学の受験をしないと試験の間隔が空きすぎてしまいます。ですから、数校であっても私立大学を併願校として受験しておくことをお勧めします。

○私立大学が第一志望の場合

第一志望の大学については最後まで徹底的にこだわり、模試での判定に関わらず受験していくべきです。私立大学についても国公立大学同様、第一志望校の受験の前に併願校を受験しておくことよいのですが、私立大学専願の場合には特に、「どの大学までなら進学するか」という点についてはあらかじめ考えておく必要があります。

2. 私立大学の併願校を選ぶ基準

併願校については、どのような基準で受験校を決定するかという見方はいくつかあります。ここでは特に『偏差値』・『入試方式』・『入試日程』の三つに注目します。

『偏差値』 … 12月の面談（一般的には3者面談です）で出願校を決定していくため、それまでの模試（特に夏以降で受験する模試）における偏差値が判断の基準となります。

『入試方式』 … 大学によっては全学部統一試験・学部内で複数の日程で行われる試験など、入試の方式が分かれているところがあり、募集人数などにも違いがあります。そのため、合格可能性が変わってくることが多いので、自分に有利な方式を考えます。

『入試日程』 … いわゆる名の知れた有名大学と入試日が重なると、受験生がそちらに流れたり、複数の大学で同系統の学部が同一日程で試験が行われると、受験生が分散したりすることなど、自分の受験に有利に働くことがあります。

3. 併願校として私立大学を受験するメリット

併願校は一般的に“押さえ”というイメージがあります。もちろん、この意味合いもありますが、第一志望校が国公立大学であっても私立大学であっても、私立大学を併願校として受験をすることには大きなメリットがあります。例えば…

- 第一志望の大学を受ける前に私立大学を受験しておくことで、本番の雰囲気慣れ、落ち着いて受験することができる。
- 計画的に私立大学の一般入試を受験して合格校を出し、安心して第一志望校の受験に臨める。